

# 山形陸上競技協会 第33回強化記録会

## 競技注意事項

1. 本大会に適用する競技規則は、2013年度日本陸上競技連盟競技規則による。

(1) ハードルの区分と高さは次の通りとする。

| 区 分      | 一般（高さ／距離）    | 中学（高さ／距離）    |
|----------|--------------|--------------|
| 男子 110mH | 1.067m／9.14m | 0.914m／9.14m |
| 女子 100mH | 0.838m／8.50m | 0.762m／8.00m |

(2) 投てきの区分と重量は次の通りとする。

| 区 分    | 男 子     |        |         | 女 子   |         |
|--------|---------|--------|---------|-------|---------|
|        | 一般      | 高校     | 中学      | 一般高校  | 中学      |
| 円 盤    | 2.0kg   | 1.75kg | 1.5kg   | 1.0kg | 1.0kg   |
| ハンマー   | 7.260kg | 6.0kg  | なし      | 4.0kg | なし      |
| ジャベリック | なし      | なし     | 0.300kg | なし    | 0.300kg |

2. 競技用具は、棒高跳のポールを除き、主催者の用意した物を使用する。

3. ①招集所はバックスタンド裏側に設置する。

②競技者は必ず招集所で点呼を受けること。

③招集開始（点呼開始）時刻は設けない。競技者が招集所に来た時点で点呼・手荷物確認等を行う。

| 競技・種目          | 招集完了時刻   | 現地集合時刻   |
|----------------|----------|----------|
| トラック競技         | 競技開始20分前 | 競技開始10分前 |
| フィールド競技（棒高跳以外） | 競技開始40分前 | 競技開始30分前 |
| 棒 高 跳          | 競技開始50分前 | 競技開始40分前 |

④棄権する場合は招集完了時刻までに棄権届を招集所に提出すること。

⑤招集完了時刻に別種目に出場している場合は、二種目同時出場届を招集完了時刻までに招集所に提出すること。

4. 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。なお練習の高さ・開始の高さは跳躍審判長の判断で変更することがある。

|        | 練習        | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    |         |
|--------|-----------|------|------|------|------|------|---------|
| 男子 走高跳 | 1.35／1.50 | 1.40 | 1.45 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 以後 5cm  |
| 男子 棒高跳 | 2.30／3.30 | 2.40 | 2.50 | 2.60 | 2.70 | 2.80 | 以後 10cm |
| 女子 走高跳 | 1.20      | 1.25 | 1.30 | 1.35 | 1.40 | 1.45 | 以後 5cm  |
| 女子 棒高跳 | 2.00      | 2.10 | 2.20 | 2.30 | 2.40 | 2.50 | 以後 10cm |

5. 長さを競う跳躍競技及び投擲競技は全て3回試技とする。

6. 投てき競技について、砲丸投を主競技場で行う。やり投・円盤投・ハンマー投は補助競技場で行う。

7. 練習会場については以下のとおりとする。

(1) 雨天走路での練習は認めない。

(2) 補助競技場の使用については以下の通りである。使用の際は練習会場係の指示に従うこと。

①砲丸投については、補助競技場で練習可能である。

②やり投については、補助競技場で練習を競技用器具の設置時間においては認めない。

③400mHについては、5・6レーンでの練習を認める。ただしやり投げの練習・競技時間には競技役員の指示に従い、接触など危険防止に努めること。

④第一曲走路からバックストレート終了地点（200mスタート地点）での練習については、やり投の競技開始以後はこれを認めない（投てき競技での安全管理の面から）。

⑤多目的運動場での投てき競技の練習は13時から15時とする。それ以外が多目的運動場の使用はできない（他競技で使用するため）。